

Contents

- 02 はじめに — 英国の英語教員研修 —
- 04 英国での教員研修の手順と準備
 1. 信頼できる研修先を選ぶ
 2. 教員向けコースを提供する英国の教育機関の種類
 3. 申し込みと渡航準備

学校紹介

- 10 Bell International
- 11 Capital City College Training (CCCT)
- 12 Celtic English Academy
- 13 Centre of English Studies
- 14 Excel English
- 15 Glasgow School of English
- 16 International House London
- 17 International House Newcastle
- 18 ITTC – International Teaching and Training Centre (BEET Language Centre の一部)
- 19 Norwich Institute for Language Education
- 20 Oxford International Study Centre
- 21 The English Language Centre
- 22 The Lake School of English Oxford
- 23 University of Chichester
- 24 University of Edinburgh English Language Education
- 25 University of Liverpool English Language Centre
- 26 University of Portsmouth SLAS (School of Languages and Area Studies)
- 27 Westbourne Academy London
- 28 Wimbledon School of English

はじめに — 英国の英語教員研修 —

現在日本では、グローバル化に対応した英語教育改革が進められています。今後、小学校では3年生から外国語活動が、5年生では教科としての英語の授業が導入されます。中学校でも授業を英語で行うことが基本となり、高校では英語でディベートなどを通じてより高度な英語力を身に付けることが目指されることとなります。こうした改革を効果的に実現させていくためには、国内外での研修を通じ、英語教育に携わる人材の指導力を向上させていくことが必要不可欠となります。とりわけ、海外の教育機関での研修は、英語教授法を学ぶだけでなく、教員自身の英語力、および異文化に対する理解と異文化コミュニケーション能力を向上させることができるという利点があります。

英国が英語を教える教員対象のコースを数多く提供し、英語教員研修のための最適な留学先として多くの留学生に選ばれていることをご存じでしょうか。英国では今から1世紀以上前に初のELT (English Language Teaching) センターが開校し、以来、学生への英語教育はもとより、教員への研修においても、高い専門性を発揮しています。これまで、英国内だけでなく全世界の英語教員を対象に、トレーニングを実施してきました。教員向けのコースが豊富に提供されていることに加え、英国では教授力の向上をめざす教員にとり多くのメリットがあります。英国で教員研修を受けるメリット5つをご紹介します。



① 質の高い教育

英語教育の提供国として長年にわたり世界をリードしてきた英国には、どの国にも負けない経験豊富な教員がそろっており、こうした優れた教員から教授法を学ぶことができます。英国が提供する高品質のトレーニングは世界中で需要が高く、これまでも多くの英国の学校が国内外で、欧州の国々やタイなど世界各国の英語教員にトレーニングを提供してきました。

② 実践的なカリキュラム

教員研修の分野で長い歴史を誇る英国では、その理論と数多くの実践的経験を始める独自のスタイルが確立されています。研修を受ける教員は、他の教員の教える様子を見ることができ、逆に自分が教える様子をより経験の豊富なスタッフに見てもらうことも可能です。こうして教師と生徒との間で双方向型の授業を展開するテクニックを習得していきますが、このようなスタイルは英国に特有のもので、実用性が重視されているため、英国で得た知識や技術は日本に戻ってすぐに教室で役立てることができます。



③ ニーズに合ったコース選択

英国の語学学校には、教員を対象とする短期研修をほぼ毎週定期的に行っているところがあり、柔軟な研修スケジュールを組み込むことが可能です。また、さまざまなタイプの学校が幅広い教員研修を実施しています。こうしたコースには、教員向けの再研修コースのほか、初等・中等学校教員向けのコース、言語と教授法に関するコースがあります。学習教科の内容を通じて言語を学ぶブレンド型学習、すなわち CLIL（クリル：内容言語統合型学習）といった特殊な授業方法の習得を目的としたコースもあります。さらに、英語教授法の分野で資格や学位を取得することも可能です。

④ 最新の教育メソッド

英国の英語教育は成熟しており、英国の教授法は世界で最も革新的であるといえます。英国では教員が、より生徒を中心に据えた教授法を習得できるほか、授業の中で新たな方法を実践し、生徒のニーズと学習進捗を評価できるようになります。また、新しいテクノロジーと教授法をどのように授業で実践していくのかを見出すこともできます。



⑤ 英語の母国で学ぶ

英語の発祥地である英国で教授法を学ぶことは、教員自らの英語力と発音を向上させ、英国の英語教育環境について知識を深める機会ともなります。また、英国の豊かな歴史と文化をじかに体験し、日本の学校における異文化理解教育に役立てることができます。

教員向けコースは、私立語学学校、大学、カレッジなど英国中のさまざまなタイプの学校で受講が可能です。詳しくは当ガイドブックの「学校紹介」をご確認ください。



英国での教員研修の手順と準備

1. 信頼できる研修先を選ぶ

コースを選ぶときの最優先事項は、留学先の英語学校が信頼でき、英国政府や教育団体から認可されていることを確認することです。英国には、多くの認定・監査団体があります。こういった団体は、教授法、施設、および学生のケアに関して厳しい品質審査基準を設けており、これらの質が保持されているか定期的に監査を行っています。その中でも代表的なものが、Accreditation UK 認定制度です。

〈 Accreditation UK 認定制度 〉

ブリティッシュ・カウンシルと、英国の語学学校で構成されている任意の団体である English UK は、アクレディテーション UK 認定制度 (Accreditation UK) を運営しています。Accreditation UK スキームは、民間の英語学校およびカレッジや大学の附属語学学校などの認定センターを監査し、一連の品質基準を満たしていることを保証します。

4 つの主要な分野 (経営、資源と環境、教授法や勉強法、そして福利厚生および学生サービス) の活動において、外部の専門家により、抜き打ち検査を含む定期的な監査が行われます。

(詳細については、www.britishcouncil.org/accreditation をご覧ください [英語])

苦情を申し立てるときは認定校に対して独自の手順を踏むことができ、あまりないケースではありますが、ある認定校が閉校された場合でも他の認定校で安心して勉強を修了することができます。

各認定・監査団体による監査結果の報告書には簡単にアクセスすることができ、それぞれの学校がどのように運営されているかを知ることができます。各語学学校のウェブサイトか、右記の関連の認定・監査団体のウェブサイトをご覧ください。

英語教授法を学びに留学する際は、以下の点に注意しましょう。

英国ビザ・イミグレーション（UKVI）による Tier 4 スポンサー・ライセンスを有している教育機関が提供するコース、または、下記のいずれかの団体に登録されている教育機関で実施されているコースから選択してください：

Accreditation Body for Language Services：英語学校の認定機関

www.ablsaccreditation.co.uk/schoolaccinfo.asp

Accreditation Service for International Colleges：様々な教育機関やコースを対象にしている総合的な認定機関

www.asic.org.uk/uk-directory

Accreditation UK：ブリティッシュ・カウンシルと Education UK が共同で運営する、英語学校の認定制度

www.britishcouncil.org/education/accreditation/centres

British Accreditation Council：様々な教育機関やコースを対象にしている総合的な認定機関

www.the-bac.org/accredited-providers/directory

Education and Training Inspectorate (in Northern Ireland)：北アイルランドの監査機関

www.etini.gov.uk/publications/type/inspectionreports

Estyn (in Wales)：ウェールズ政府の監査機関

www.estyn.gov.wales

Education Scotland：スコットランド政府の監査機関

<https://education.gov.scot/what-we-do/inspection-and-review/reports>

Independent Schools Inspectorate：私立学校監査機関

www.isi.net/reports

Office for Standards in Education (Ofsted)：イングランドの監査機関

<https://reports.ofsted.gov.uk>

Quality Assurance Agency for Higher Education：高等教育質保証機構

www.qaa.ac.uk/reviews-and-reports

Schools Inspection Service：私立学校の監査機関

www.schoolinspectionsservice.co.uk

当ガイドブックに掲載されている学校は、Accreditation UK か、2017 年 8 月の時点で英国ビザ・イミグレーションによる Tier4 スポンサー・ライセンスを有している教育機関です。最新の状況は、上記の情報源をもとに確認しましょう。



2. 教員向けコースを提供する英国の教育機関の種類

教員向けコースは、英国中の私立語学学校や大学、カレッジなどの教育機関で受講が可能です。英国全域（イングランド、ウェールズ、スコットランドおよび北アイルランド）に、左記団体により認定を受けた語学学校があり、自分のニーズに一番合った地域と教育機関を選ぶことができます。

学校の種類	教員向けコースの特徴
私立の語学学校	さまざまなレベルの教員向けコースが開講されており、開講時期、期間や内容は教育機関によって異なります。多くの学校において、学生の都合に応じた入学時期や研修期間の柔軟な設定が可能です。学生寮、ホームステイやホテルなどの滞在オプションを選択することができます。このタイプの学校は小規模で、アットホームな雰囲気の中で学ぶことができるのも特長です。
ファーザー・エデュケーション・カレッジ	ファーザー・エデュケーション・カレッジ（FE カレッジ）は職業専門教育を主に行う教育機関です。FE カレッジの中には、ディプロマなどの専門資格の取得につながる長期の教員向けコースを提供している機関があります。
大学などの高等教育機関	大学の付属語学学校や言語系学部などで教員向けコースが提供されています。さまざまなレベルのコースが開講されており、開講時期、期間や内容は教育機関によって異なります。大学院レベルの資格（ディプロマや修士号）取得のためのコースを提供しているところもあります。多くの場合、大学の学生寮での滞在が可能です。

コース内容、期間、入学時期、費用や入学要件は、教育機関ごと、またコースごとに異なります。詳細は本ガイドブック「学校紹介」のページを参照に、各教育機関にお問い合わせみましょう。

※学校によっては、英語力の要件を課すところがあります。当ガイドブックでは英語力の指標として、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)を用いています。IELTS のスコアと CEFR がどのように対応しているかについては、

<http://takeielts.britishcouncil.org/find-out-about-results/understand-your-ielts-scores/common-european-framework-equivalencies> をご覧下さい。



3. 申し込みと渡航準備

研修準備の流れ

学びたいコース、地域、学校の種類を決める



当ガイドブックの「学校紹介」ページを参照する、ブリティッシュ・カウンシルが開催する英国留学関連イベント（下記「ブリティッシュ・カウンシルの英国留学サポート」参照）に参加する、学校に直接問い合わせるなどして情報を集める



学校のウェブサイトを確認し、オンラインフォームやメールで学校案内と申込用紙を請求する



週あたりの授業時間、1クラスあたりの人数、コース費用（何が含まれていて、何が別料金として発生するのか）、滞在先の種類と費用、および資格が欲しい場合、コースを通じて取得できるかどうかを確認する



選んだ学校宛てに申込用紙を、必要であれば予約金（デポジット）も送付。通常はオンライン上で申し込むことが可能



入学許可書を受け取ったら、入学確定の返事をする。その後は留学先の学校が提示する手順に従う

費用

コース費用には以下のものが含まれますが、必要な費用は英語コースによって異なります。

- ・書籍およびコース教材
- ・試験および資格試験料
- ・交流イベントおよびパーティー
- ・食事
- ・宿泊

コースによって費用に含まれるものは異なるので、どこまでが含まれるのかを学校のウェブサイトなどで調べましょう。情報が見つからない場合は、是非直接問い合わせせてみて下さい。考慮しなければならないその他の費用は、以下のようなものです。

- ・英国までの渡航費
- ・英国内での旅行や観光にかかる費用
- ・健康保険および旅行保険
- ・日々の生活費



©Mat Wright

宿 舎

教員向けコースを提供する多くの学校がホームステイおよび学生寮のオプションを提供しており、自分の好みに合った滞在先を選ぶことができます。宿舎にかかる費用は学校によって異なります。また、宿舎費にインターネット接続料金が含まれているか、食事付きか、また食事が提供される場合も1日に何回まで提供されるのかなど、事前に確認しましょう。

ビザの取得

イギリスの教育機関に留学するためには、ビザの取得が必要となりますが、コース期間や年齢によって取得するビザが異なります。あらかじめ、UK Visas and Immigration (英国ビザ・イミグレーション) のウェブサイト (www.gov.uk/government/organisations/uk-visas-and-immigration) または、英国ビザ関連のサービスを提供する民間機関 VFS グローバルのウェブサイト (www.vfsglobal.co.uk/japan/Japanese/index.html) で最新の情報をご確認ください。

2017年8月現在、11か月までの英語コースで勉強する場合は、Short-term Study Visa を申請します。6か月までの留学の場合は渡航前に事前にビザを申請する必要はありませんが、6か月から11か月のコース(18歳以上に限る)の場合は、事前のビザ取得が必要となります。申請時に必要書類の1つとして入学許可書を利用できます。詳しくは上記ウェブサイトを確認しましょう。



images : ©Mat Wright

ブリティッシュ・カウンシルの英国留学サポート

ブリティッシュ・カウンシルは、教育機会と文化交流を目指す、英国の公的な国際文化交流機関です。1934年より世界中で活動を広げてきました。現在は、日本を含む世界100以上の国と地域で190以上のオフィスを展開しています。最新のコミュニケーション手法を用いた英会話スクールやIELTS（アイエルツ：International English Language Testing System）などの試験を提供しています。また、英国留学に関する情報提供のほか、高等教育、英語教育、アーツの分野で国際的なパートナーシップの構築などを行っています。www.britishcouncil.or.jp

ブリティッシュ・カウンシル ウェブサイト 英国留学情報ページ

www.britishcouncil.jp/studyuk

英国の基本情報、教育の特長や、代表的な留学の種類・入学条件、留学までの手続きなどの情報を収集できます。

英国留学関連イベント

英国留学フェアや英国留学セミナーなど、関連イベントの情報は「イベント情報」で確認できます。

www.britishcouncil.jp/studyuk/updates/events

英国留学ニュースレター

ブリティッシュ・カウンシルでは、英国留学の準備に役立つ情報を月1回無料でお届けする「英国留学ニュースレター」を配信しています。登録は「英国留学ニュースレターへの登録」から。

www.britishcouncil.jp/studyuk/updates/newsletter

英国留学ガイドブック

ブリティッシュ・カウンシルでは、英国留学に関する各種ガイドブックを発行しています。「留学関連広報物」から、電子版をご覧ください。

www.britishcouncil.jp/studyuk/information/publications

英国語学留学関連ウェブサイト

Accreditation UK 認定校一覧

www.britishcouncil.org/education/accreditation/centres

English UK ウェブサイト

www.englishuk.com



Bell International

ケンブリッジ／ロンドン

所在地	Hillscross, Red Cross Lane, Cambridge CB2 0QU
Website	www.bellenglish.com
Email	enquiries@bellenglish.com
Tel	+44 (0) 1223 2775500
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持 Accreditation UK Bridge Schools Inspectorate Independent Schools Inspectorate



当校では、英語は言語以上のものであると考えています。受講者が自分の夢をかなえる足がかりとなるのが英語なのです。

60年以上にわたり、当校は記憶に残る学習経験を世界各地からの学生と教員に提供しており、100万人を超える人々の人生を変えています。「ベル・ウェイ」という教授アプローチを通じて、目標を高く持ち、学習目標を上回る成果を挙げ、自信を持って英語を駆使できるようになりましょう。

おすすめコース

ベルでは、受講者がどのキャリアの段階にあっても興味に合ったコースが見つけれられるよう、ありとあらゆる教員研修コースを提供しています。授業はすべて、ケンブリッジ大学の一部であるホマトンカレッジの、ベル・ティーチャー・キャンパスで行われます。受講期間 2 週間のこれらのプログラムは、毎年 7 月と 8 月に開講されます。

以下は、受講者が選択できるさまざまな学習テーマの例です。

- 教員トレーナーに必要なスキル
- CLIL (内容言語統合型学習) 小学校レベル
- ブレンド型学習
- 英国文化再訪
- 現代英語
- CLIL (内容言語統合型学習) 中高レベル
- 授業における創造性
- 今日の教育テクノロジー
- 専門的教授法
- 教師の語学力向上
- 語学と方法論の再教育：中高生／社会人
- 語学と方法論の再教育：ジュニア
- 発音から読み聞かせまで
- 試験対策授業を教える

いずれのコースも、特に現職教員を対象に組まれており、また、世界中からさまざまな教員を受け入れています。授業時間は、2 週間のコースで 43 時間です。

ベル・ティーチャー・キャンパスで開講されるコースはすべて、非常に経験豊かな教員トレーナーが担当します。トレーナー陣には、トップクラスの ELT 専門家が多くおり、また、エイドリアン・アンダーヒルやチャズ・パグリーズなど、教育書の著者で構成されています。いずれのコースにもワークショップ、英国文化体験 (授業内外)、ゲストを招いての講義、全員参加の授業が組み込まれており、受講生のニーズに合った内容となっています。

これらのコースは朝食と夕食付きの滞在型コースとなっています。そのため受講者は、ケンブリッジ大学内で行う自身の学習にのみ集中することができます。

入学要件

CEFR B1 レベル以上の英語力と英語教授経験

開講日

7 月～8 月。詳細の日程はウェブサイトをご参照ください。

www.bellenglish.com/teacher-training/teacher-development/courses

1 週間当たりの授業時間数

21.5 時間／週

費用

1 名につき £1740 (2 週間コース。授業料、教材費、宿舎費、保険料およびサーティフィケートの費用を含む)

1 クラスの人数

12 名

滞在費用

ホームステイ：190 ポンド／週

学生寮：250 ポンド／週

ホテル：455 ポンド／週

Capital City College Training (CCCT)

ロンドン

所在地	Regent's Park Centre, Longford Street, London NW13HB
Website	www.ccct.london
Email	stefania.costa@capitalcct.ac.uk
Te l	+44 (0) 20 7963 8566
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持 Accreditation UK Office for Standards in Education (Ofsted)



キャピタル・シティ・カレッジ・トレーニング (CCCT) のロンドン中心部にある各カレッジは、英国有数の教育と研修のプロバイダーとして評価されています。海外の教員グループに向けて教員研修プログラムをカスタマイズし、提供してきた経験も豊富です。CCCTの教員研修は、小中高の教師、校長、大学の講師、あるいは社会福祉士や研究者、学校スタッフなどとして実りあるキャリアを積むことができるよう、スキルと資質を伸ばす機会を提供します。受講者が「教える」という役割について学び、授業を行うスキルを伸ばすサポートをします。

おすすめコース

CCCTは、英語研修とスキル開発プログラムを提供する、ロンドン屈指のカレッジです。教員研修の拠点として、また現役教師を対象とした専門能力継続トレーニングを提供する拠点として、高く評価されています。

CCCTの教員研修は、受講期間、時間数、授業外の活動、滞在施設、交通手段など、参加者の要望に応じて全面的にカスタマイズされます。

CCCTの教員研修には以下が含まれています。

小中高および高等教育レベルでの英語教育
職業スキルの評価と学習
職業訓練カリキュラムへの英語の組み込み
学習者主体のアプローチ
コーチングとメンタリング

また、着任して間もない教員から教授経験豊富な教員まで、教職経験のあらゆるレベルに対応しています。

どのプログラムも、ロンドン中心部に複数あるCCCTセンターのいずれかで実施されます。研修費用には、文化交流プログラム、宿泊、食事、空港への送迎、ロンドン・トラベルカードが含まれています。

CCCTは海外の教員向けに教員研修プログラムをカスタマイズし提供した長年の経験から、受講者それぞれの異なる目標に応じたサポートを提供するためのノウハウを培ってきました。これまでのプログラムの参加者からは、授業での教え方を向上させてくれたというフィードバックを受けています。学習者主体の授業環境を作り出すための新たなスキルを身につけたことで、授業を受ける生徒にプラスの効果がすぐさま現れたということです。

入学要件

あらゆるレベルの参加者に対応します

開講日

一年中開講可能

1週間当たりの授業時間数

グループによって異なる

費用

当校は個別のグループのご要望に応じてカスタマイズされたコースを提供するため、コースにより費用は異なります。詳細はお問い合わせください。

1クラスの人数

グループによって異なる

滞在費用

詳細はお問い合わせください。

Celtic English Academy

カーディフ

所在地	18 Park Grove, Cardiff CF10 3BN Wales
Website	www.celticenglish.co.uk
Email	info@celticenglish.co.uk
TEL	+44 (0) 2920 344805
認定・ 監査団体	Accreditation UK



当校は、ロンドンから列車でわずか2時間、英国ウェールズの首都、カーディフに位置しています。フレンドリーかつ安全で、生活費の安いカーディフは、生活をするにも学習をするにも最適な街です。当校では、年間1000人を超える学生を50以上の国から受け入れていますが、一クラス当たり最大10人という少人数制で授業が行われます。

おすすめコース

2週間の教員育成プログラムは、母国で英語の教員の資格を持つ、もしくは教授言語として英語を使用することを求められる、英語を母語としない教員に適しています。本プログラムは、英語スキル全般の向上と、授業内で活用できるCLIL（内容言語統合型学習）などの創造的な教授法や方法論の習得を組み合わせることを望む、初等・中等学校の教員を対象としています。

対象者：

- ・母国で英語教員の資格を有する者、および英語教員として養成中の者
- ・科目にかかわらず、母国で教員の資格を有する、あるいは教員として養成中で、英語で授業を行うことを求められる可能性のある者
- ・初等および中等学校の教員

プログラムの目的：

- ・授業で活用できる革新的な教授法やアクティビティを学ぶこと
- ・初等・中等学校の生徒の学習意欲を高め、参加を促す実践的なアイデアを習得すること
- ・授業という枠の中で使える英語スキルや、アドバイスをしたり同意したりといった役割を果たす言語の向上を図ること
- ・他の国から参加する生徒や教員との交流
- ・マイクロティーチングを体験し、クラスメートからフィードバックを得ること
- ・英国の初等・中等教育の授業に関する識見を得ること
- ・ホームステイを通じて英国とウェールズの文化を体験すること
- ・社会活動プログラムを通じてウェールズ文化を理解すること

プログラムに含まれるもの：

- ・週21時間の教員研修
- ・週1日の地元の学校（各自の状況に合わせ、初等あるいは中等学校）への訪問、滞在先から訪問先への交通手段を含む
- ・交流プログラム
 - 土曜日に行われる1日の小旅行2回（ウェールズの歴史的建造物や史跡などを巡るツアー、バス観光）
 - 週2回の午後もしくは夜のアクティビティ（アフタヌーンティー、カーディフ湾ボートツアーとWorld of Boatsミュージアム見学、科学博物館、BBCスタジオ見学—予約状況次第）
- ・週4回の地元のプリティッシュバブでの温かいランチ
- ・バス券
- ・滞在オプションA—学生寮（バス・トイレ付個室／自炊）
- ・滞在オプションB—ホームステイ（個室／1日2食付）

プログラムに含まれないもの：

- ・空港との往復送迎（追加料金で手配可能）
- ・夏季あるいは英国の学校の休暇期間中における地元の学校への訪問
- ・グループリーダー

入学要件

CEFR B1 レベル以上の英語力

開講日

2018年3月25日、4月8日、7月1日、8月5日、9月2日、12月2日

1週間当たりの授業時間数

21時間／週

費用（2週間あたり、滞在費用含む）

ホームステイの場合：1010ポンド、
学生寮滞在の場合：1030

1クラスの人数

最大10名、平均6～8名

滞在費用

ホームステイ：130ポンド／週

学生寮：135ポンド／週

ホテル：300ポンド／週

Centre of English Studies

エディンバラ、リーズ、ワージング

所在地	エディンバラ：54 Manor Place, Edinburgh EH16 5XN リーズ：9 Park Place, Leeds LS1 2RU ワージング：12 Stoke Abbott Road, Worthing, West Sussex BN11 1HE
Website	www.ces-schools.com
Email	info@ces-schools.com
TEL	エディンバラ：+44 (0) 131 226 5004 リーズ・ワージング：+44 (0) 1132 427 171
認定・ 監査団体	Accreditation UK



CESは、英国・アイルランドの7か所にキャンパスを持ち、1979年より良質の語学コースと教員研修を提供しています。英国文化や英語の環境に浸りながら指導技術を向上させたい教員の方々に、最高の機会を提供いたします。

おすすめコース

プロフェッショナル・ディベロップメントコース — ブレンド型学習 (オンライン学習と教室での対面学習を組み合わせた学習)

語学スキルに磨きをかけると同時に、ブレンド型学習の概念を研究することを望む英語教員を対象としたコースです。本コースには、世界各地から集まった教員とディスカッションを行い、アイデアを共有する機会が設けられています。

授業は、様々なワークショップのほか、コミュニケーション形式や講義形式で行われます。モジュールには、ブレンド型学習入門、学習者スタイル、語学力の向上、英国文化と慣用表現、といった科目が含まれます。

プロフェッショナル・ディベロップメントコース — CLIL (内容言語統合型学習)

当校のCLILコースは、英語力の向上とCLILの方法論を研究することを望む、非ネイティブの他教科教員を対象としています。本コースには、世界各地から集まった教員とディスカッションを行い、アイデアを共有する機会が設けられています。

授業は、様々なワークショップのほか、コミュニケーション形式や講義形式で行われます。モジュールには、CLILとは何か、プロダクティブスキル、レセプティブスキル、学習者支援方法、といった科目が含まれます。

教員研修プログラムはいずれも1週間もしくは2週間で構成され、週20時間の授業が午前と午後に分かれて行われます。

当校は、EUやフランスなどの教員に対する研修制度の一環として、各種能力開発コースの提供を行ってきました。参加者はブレンド型学習やCLILに加え、アクティブラーニングや教員対象の語学研修などの教員研修プログラムを受講することも可能です。

入学要件

中級～上級の英語力

開講日

6月2日、または6月16日

1週間当たりの授業時間数

20時間/週

費用 (1週間あたり)

580ポンド

1クラスの人数

最大14名

滞在費用

ホームステイ：145～175ポンド/週

学生寮：240～255ポンド/週

ホテル：500～560ポンド/週

B & B：500～560ポンド/週

Excel English

ロンドン

所在地	The Hall, 8 Muswell Hill, London N10
Website	www.excelenglish.co.uk
Email	info@excelenglish.co.uk
TEL	+44 (0) 20 8365 2485
認定・ 監査団体	Accreditation UK



当校は1989年より、授業から滞在施設、学生のケアから交流プログラムまでのあらゆる面において、最高のものを提供することを目指してきました。ブリティッシュ・カウンシルの審査では、トップレベルのセンターとしての評価を得ています。2001年より教員研修コースを開講しており、コースの目的に合わせて設計された校舎は、ロンドン中心部から公共交通機関で25分、安全かつ流行の先端を行く地区にあります。

おすすめコース

『New Ideas for the English Classroom (英語の授業のための新しいアイデア)』コースは、受講者の英語力を伸ばすとともに、英語の授業で活用できるさまざまなアクティビティを実際に体験していただくことを目的としています。受講期間2週間のこのコースは、ロンドン中心部への小旅行1回を含め、週22.5時間の授業時間からなります。受講者は少人数のグループやペアワークでのアクティビティ、ディスカッション、セミナーやワークショップに参加することで語学レベルを向上させ、最新のさまざまなコミュニケーションな英語教授の手法を経験するだけでなく、他の方法論についても学びます。語学力向上のための要素は、参加グループの語学レベルとニーズによってカスタマイズされます。受講者同士で学びあうことが、本プログラムの重要な部分となっており、それぞれが直面する課題やアイデアを振り返り、共有するよう促すことで、英語を教えるということについての理解をさらに深めていきます。

本コースは各クラスのニーズに合わせた構成となっておりますが、授業には「語彙アプローチ」、「学習法」、「タスクベースの学習」、「コラボレーティブ・ライティング」、「慣用語とスラング」、「認証を受けたビデオやDVDの使用」、「誤りの訂正」、「句動詞の理解」などを含むことが可能です。さらに、現代の英国についての知識を深めるためのテーマ別授業も行っており、エクセル・イングリッシュが通常プログラムとして提供する文化交流活動にもご参加いただけます。本コース終了時には英語力が向上し、教員としての自信とスキルが高まっていることでしょう。

エクセル・イングリッシュの教員研修には、他にも「教師のための英語」、「テクノロジーを活用した教授法」、「聞く」と「話す」を教える、「教員のための英国文化」などがあります。コースの詳細はウェブサイトをご覧ください。

入学要件

CEFR B1 レベル以上の英語力

開講日

1月8日～19日、4月3日～13日、
7月2日～13日、7月30日～8月10日、
10月8日～19日

1週間当たりの授業時間数

22.5時間/週

費用 (1週間あたり)

695ポンドおよび登録料99ポンド・教材費
35ポンド

1クラスの人数

最大12名

滞在費用

ホームステイ：180ポンド/週(1日2食付)

学生寮：282ポンド/週(自炊)

ホテル：588ポンド/週(B & B)

Glasgow School of English

グラスゴー

所在地	180 Hope Street, Glasgow G2 2UE
Website	www.glasgowschoolofenglish.com
Email	info@glasgowschoolofenglish.com
Te l	+44 (0) 141 353 0033
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持 Accreditation UK HM Inspectorate of Education (in Scotland)



当校は、年間 50 週にわたり授業を開講しており、どの月曜日からも受講を開始できます。定員は、毎週 130 人です。日本人の学生は少数なので、世界各国から集まった受講生と研修に参加することができます。低い授業料で質の高い授業を提供しています。登録料や予約料はありません。

おすすめコース

当校はスコットランドのグラスゴー中心部にあり、市内のどこからでも非常に通いやすい立地にあります。学校は小規模で和気あいあいとした雰囲気。WiFi とインターネットに無料でアクセスでき、学校の施設や設備もすべて無料で利用できます。

海外の教員向け CLIL (内容言語統合型学習) プログラム

小学校教員を対象としたプログラムと中学・高等学校の教員を対象としたプログラムの 2 コースがあります。いずれのプログラムにも、6 週間のブレンド型学習と 2 週間の対面学習から選択できるオプションが組みられています。

ブレンド型学習オプション (6 週間、50 時間)

オンライン授業 4 週間(20 時間) とグラスゴーでの対面授業 2 週間(30 時間)

対面学習オプション (2 週間、30 時間)

グラスゴーでの対面授業 2 週間 (30 時間)

費用には、コース受講料、教材、滞在施設 (一人部屋、自炊設備・バストイレ付き)、学校が毎週開催する交流プログラムへの参加費が含まれています。各プログラムとも、開講に必要な最少人数は 6 名です。詳細およびご予約手続きにつきましては、学校にお問い合わせください。その際、レファレンス番号 JAP 002 をお伝えください。

入学要件

ブレンド型学習オプション: CEFR B1 レベルの英語力、対面オプション: CEFR B1 レベル以上の英語力

開講日

最少開講人数を満たせばいつでも開講

1 週間当たりの授業時間数

ブレンド型学習オプション: 20 時間/週のオンライン学習と 30 時間/週の対面授業

費用 (1 週間あたり)

ブレンド型学習オプション: 参加者 1 人当たり 740 ポンド、対面オプション: 参加者 1 人当たり 595 ポンド

1 クラスの人数

最少 6 名

滞在費用

ホームステイ: 175 ポンド/週 (1 日 2 食付)

学生寮: 155 ポンド/週 (自炊)

ホテル: 400 ポンド/週 (B & B)

International House London

ロンドン

所在地	16 Stukeley Street, London, WC2B 5LQ
Website	www.ihlondon.com
Email	sales@ihlondon.com
Te l	+44 (0) 207 611 2400
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持 Accreditation UK Independent Schools Inspectorate



1959年に設立された当校は、英語教員研修の本場です。世界初の外国語としての英語教授資格は当校で誕生し、その資格は現在 CELTA と呼ばれています。当校では、非常に経験豊かなトレーナー陣が、受講者の需要に応じたさまざまなコースを提供しています。グループ向けに、希望に合わせたプログラムをロンドンまたは日本で実施することもできます。

おすすめコース

当校にはさまざまなコースがありますが、最も人気があるのは1月、7月、8月開講の2週間コースです。学校は美しいコベントガーデンにあり、周辺には多くのロンドンの名所があります。キャンパスには幅広い蔵書をそろえた図書館やリソースセンター、カフェテリア、そして53の教室があり、日本語を話すスタッフもいます。

2週間コースの例：

- CLIL (内容言語統合型学習) – 英語以外の教科を、英語を母語としない人々に対して英語を使って教える教員を対象としたコースです。
- 幼児・児童向け授業スキル – 5歳から11歳の幼児・児童を教える教員を対象としたコースです。
- 英国の生活 (文化を教える授業) – 授業内容に文化的要素を取り入れたい教員を対象としたコースです。
- 実践的教授法 – 授業を活気づかせ、効果的な教を推し進めるための実践的なアイデアや手法を学びたい教員に最適なコースです。
- 最新トレンド – 最新の手法やアプローチについての理解をアップデートしたいと望む、中高生や成人を教える英語教員を対象としたコースです。
- 教員のためのテクノロジー – 授業で活用できる最新テクノロジーについて学びます。(このオプションは、1日1時間、2週間にわたって行われ、上記のどのコースにも追加することができます)

さらに当校では、CELTA (4週間フルタイム)、DELTA (オンライン、対面またはブレンド型学習のいずれか)、アカデミック・マネジメントのコースも受講可能です。

また、今後の日本の英語教育制度改革に向け、当校は日本でも数多くのプロジェクトに取り組んでいます。そのため、多くの教員グループが、ケンブリッジ大学英語検定機構の CELT-P (小学校英語指導者用サーティフィケート) または CELT-S (中学・高校英語指導者用サーティフィケート) コースを適切なオプションと考えています。こうしたコースは、経験を積んだ当校のトレーナーにより、日本で実施することも可能です。

入学要件

CEFR B1 レベル以上の英語力
(ただし、各コースによって要件が異なる)

開講日

1月、7月、8月

1週間当たりの授業時間数

27.5時間/週

費用

710ポンド (2週間のコース) ~

1クラスの人数

15名

滞在費用

ホームステイ：190ポンド/週~

学生寮：260ポンド/週~

ホテル：630ポンド/週~
(学校から徒歩1分)

シェアハウス：240ポンド/週

International House Newcastle

ニューカッスル・アポン・タイン

所在地	7-15 Gallowgate, Newcastle upon Tyne NE1 4SG
Website	www.ihnewcastle.com
Email	trevor@ihnewcastle.com
Te l	+44 (0) 191 2329551
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持 Accreditation UK Independent Schools Inspectorate



当校は、ブリティッシュ・カウンシルおよび私立学校査察機関 (ISI)、エル・ガゼットより優れたセンターとして評価されており、またヨーロッパ優良語学学校協会 (EQUALS) の正会員でもあります。ニューカッスル・アポン・タインの活気あふれる学生都市の中心部に位置しており、1978 年より英語と内容言語統合型学習 (CLIL) の教師を対象とした教員研修を提供しています。

おすすめコース

内容言語統合型学習 (CLIL) :

英語で教科を教えるということは、単に同じ授業を異なる言語で行うということではありません。生徒には英語力の向上も期待されているため、他にも考慮しなければならない要素が数多くあります。英語による教科の教授を成功させるには、担当教員自身が言語運用能力を高めることが肝要です。当校では、CLIL 方法論コースの受講者が、教科内容と言語をいかに教えればいいのかじっくりと検討できるよう、「ループ」インプットを実施しています。その過程において受講者は、授業に取り入れられる有益なアクティビティを体験するだけでなく、自身の語学力を向上させることもできます。こうしたコースは小中高校の教員を対象としています。

コース時間割の例

9:00 - 10:45	CLIL 方法論インプットセッション
休憩	
11:00 - 1:00	授業見学
昼食	
14:00 - 15:00	個人学習プログラムと科目ベースの CLIL プロジェクト
15:00 - 17:00	英語レッスン

授業内容は、受講者が教える科目と生徒の年齢によって決まります。

「インプットセッション」では、CLIL 概論、言語習得プロセス、多様な方法論、語彙論と語彙、授業の運営と生徒に対する指示、授業とアクティビティの計画づくり、誤りとその訂正の仕方、実践的な指導技術などについて学びます。

授業見学：受講者は、経験豊富な教員の授業を見学します。その見学から得られた学びは、インプットセッションにて振り返ります。

個人学習プログラム：受講者は、各自が教える学習者年齢と専門科目に応じたプロジェクトに着手します。

英語レッスン：受講者は語学テストを受け、レベル別にクラス分けされます。

コース期間は 2 週間または 4 週間です。

入学要件

CEFR B1 レベル以上の英語力

開講日

1 年を通じて開講

1 週間当たりの授業時間数

30 時間/週

費用

320 ポンド/週

1 クラスの人数

最大 12 名

滞在費用

ホームステイ：150 ポンド/週

学生寮：150 ポンド/週

ホテル：350 ポンド/週

ITTC - International Teaching and Training Centre (BEET Language Centre の一部)

ポーンマス

所在地	Beet Language Centre, Nortoft Road, Bournemouth BH8 8PY または ITTC, 91 Wimborne Road, Bournemouth BH3 7AN
Website	www.ittc.co.uk
E mail	sachi@beet.co.uk (日本語対応) または tefl@beet.co.uk (英語対応)
T e l	+44 (0) 1202516289 または +44 (0) 1202397721
認定・ 監査団体	Accreditation UK



ITTC は、年間を通して英語コースを開講している BEET ランゲージ・センターの姉妹校です。30 年以上にわたり、英語を第一言語または第二言語とする受講者に、質の高い英語教員研修コースを提供してきました。当校に在籍する日本語のネイティブスピーカーが、ITTC コース受講のために滞在している日本人受講者の皆をサポートします。

おすすめコース

海外の英語教員のためのリフレッシュコース (全 2 週間、週 15 時間)

方法論、授業内アクティビティ、言語能力向上のうち、厳選した分野に焦点を当てます。受講者は、事前アンケートに回答し、各自の言語ニーズや教える文脈に、より関連の強い方法論・語学分野を追加することができます。コースに含まれる可能性がある分野には、間違いを訂正する際のテクニックやスピーキングのアクティビティ、マルチメディアの活用を授業に取り入れていくアイデアや、冠詞、条件文や発音など、数多くあります。本コースは、小中高生や成人学習者に英語を教える教員を対象としており、ベテランの方にも、教職に就いて間もない方にも適しています。

受講者は毎週、教授法と言語能力の発達についての 90 分の授業を 10 セッション受講します。午後は、観光に出かけたり無料の授業を受けたりできるよう、自由時間となっています。この無料の授業は、CELTA 教員研修コース受講中の新任教員が担当します (開講の可否は教員のスケジュールによります)。

さらに、12 時間の CLIL (内容言語統合型学習) のオプションクラス (週 6 時間、90 分授業 4 セッション) では、次のような成果が期待できます。

- 教えるための英語についての理解を深める
- 英語でのコミュニケーションスキルを伸ばす
- 現在の CLIL 方法論について、より良く理解する
- CLIL の方法論を授業で活用する能力と自信を高める
- 担当科目を英語で準備したり教えたりする際に応用できる、新しいアイデアやスキル、語学力を習得する

当校は 20 年以上にわたり教員研修プログラムを提供してきており、講師は全員非常に経験豊富で、Cambridge Language Assessment の承認を受けた教員トレーナーです。そのため、教育の質は一貫して高水準に保たれています。

BEET ランゲージ・センターでは、ご要望に応じて授業見学を実施しています。

入学要件

CEFR B2 レベル以上の英語力

開講日

2018 年 7 月 30 日または 8 月 6 日 (リフレッシュ・コースは 6 名以上の団体向けに一年中開講可能。詳細はお問い合わせください)

1 週間当たりの授業時間数

21 時間 / 週

費用

1 名につき £1078 (2 週間コース)

1 クラスの人数

最大 15 名

滞在費用

ホームステイ: 135 ポンド / 週
(6 月 30 日 ~ 8 月 25 日は 160 ポンド)

学生寮: 148 ポンド / 週
(6 月 30 日 ~ 8 月 25 日は 168 ポンド)

夏期エンスイート・レジデンス: 195 ポンド / 週
(7 月 1 日 ~ 8 月 25 日のみの提供)

エグゼクティブ・ホームステイ: 245 ポンド / 週

Norwich Institute for Language Education

ノリッチ

所在地	78-80 Upper St Giles Street, Norwich NR2 1LT
Website	www.nile-elt.com
Email	registrar@nile-elt.com
TEL	+44 (0) 1603 664473
認定・ 監査団体	Accreditation UK



NILE は世界トップレベルの、言語教育者を対象とした専門能力開発センターです。初歩的な資格から修士号まで、英語教育キャリアのあらゆる段階に応じた研修を対面でもオンラインでも開講しています。英国ノリッチで実施するプログラムの他にも、世界各地の機関や省庁の英語教員を対象に ELT プロジェクト・マネジメントやコンサルティング、また諸々のコースを提供しています。

おすすめコース

内容言語統合型学習 (CLIL) は、英語を媒体として教科を教える、画期的かつ極めて効果の高い教授法です。当校は 20 年以上にわたり、世界各地の小中高や大学の英語教員、およびカリキュラム開発者を対象に CLIL コースを提供してきた経験があります。一般開講コースの他に、特定のグループ向けに組まれたプログラムもあります。

NILE の 50 時間コースでは、受講者は、CLIL が今日大きな意味を持つ理由を理解するとともに、さまざまな専門ツールや技術について学びます。これらのツールや技術は、生徒が教科内容の知識を深めるのと同時に語学力と言語運用能力を伸ばせるよう指導する手助けとなります。本コースが取るアプローチは極めて実践的で、「授業とコース設計」、「授業における効果的な実践と評価」の観点から、基礎となる CLIL 理論を検証していきます。また本コースでは、受講者の単語・文・会話レベルでの言語意識と言語能力を向上させます。

当校の CLIL コースには次のいずれか、またはすべての領域から選び出された内容が含まれています。どの内容になるかは、受講者の状況的・個人的ニーズおよび優先事項により決まります。

- CLIL に適した教材と手法の研究
- CLIL に関連する教材の設計、開発、考察
- CLIL に適した授業方法とやりとりの型式の検討
- 内容特化型の語彙構築をはじめとする、教科を中心とした語力の育成
- 言語の豊富な授業環境の創出
- 言語切り替えと 2 か国語使用の考察
- CLIL における批判的思考と思考能力の役割の研究

学びを振り返り、コースから得たアイデアを各自の教授環境にどう盛り込んでいくかを検討する時間も組み込まれています。

入学要件

当校の CLIL コースは、英語や他の外国語を用いて教科の内容を教える教員向けです。参加者には CEFR A2/B1 レベルの英語力が求められます。

開講日

2018 年 7 月 2 日、30 日。
グループ向けには 1 年を通じて開講

1 週間当たりの授業時間数

25 時間/週

費用 (2 週間あたり)

登録料 150 ポンド、授業料 910 ポンド、グループ向けの費用はご相談ください。

1 クラスの人数

最大 16 名

滞在費用

ホームステイ : 210 ポンド/週

学生寮 : 210 ポンド/週

Oxford International Study Centre

オックスフォード

所在地	7 St Aldates, Oxford OX1 1BS
Website	www.oxintstudycentre.com
Email	international@oxintstudycentre.com
TEL	+44 (0) 1865 201009
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持 Independent Schools Inspectorate



OISC は、オックスフォードの中心部に位置しています。オックスフォード大学とのつながりも深く、OISC のプログラムの多くが同大学を会場としています。開講科目は 30 を超え、世界各国からあらゆる年齢層の受講生を受け入れています。教員を対象とした当校のプログラムは、EU のエラスムス・プラスのプロジェクトとして認められています。

おすすめコース

当校で最も人気のある教員研修は、**内容言語統合型学習 (CLIL) プログラム**です。

CLIL は、欧州の学校や大学で広く取り入れられるようになってきました。CLIL の狙いは科目内容と語学の両方を教えることで、ブリティッシュ・カウンシルの言葉を借りれば、「学ぶために言葉を使い、言葉を使うために学ぶ」という考えです。

当校には、言語、科学、人文、社会科学、経営、経済、数学をはじめとする 30 を超える専門科目を長年にわたり教えてきた経験があります。したがって当校では実に幅広い専門知識を扱っています。専門科目の講師陣は、英語を母語としない生徒の指導において非常に豊富な経験を持っています。受講者は、小学生から大学を卒業した方までのあらゆる年齢層と幅広く、海外の多くの学校や大学のパートナー校からの教員を専門能力開発プログラムに受け入れてきました。

本 CLIL プログラムは、グループまたは個々の教員のニーズに合わせて組まれますが、通常は教授法、クラス運営、授業の計画づくり、教材などに関する授業を午前中に行います。こうした授業は、英語を専門とする講師が担当します。午後は、科学、地理学、経営などを専門とする講師が担当し、こうした教科を英語と関連づけて教えることに重点が置かれます。英国国外の多くの学校や大学が自校のプログラムの多くを英語で行うため、本コースは非常に人気です。

入学要件

CEFR B1 レベル (IELTS 4.0) 以上の英語力

開講日

毎週月曜日

1 週間当たりの授業時間数

22.5 時間/週 (30 レッスン)

費用

450 ポンド/週

1 クラスの人数

平均 4 名

滞在費用

ホームステイ : 230 ポンド/週

学生寮 : 450 ポンド/週

ホテル : 500 ポンド/週~

大学 : 650 ポンド/週

The English Language Centre

ブライトン

所在地	33 Palmeira Mansions, Brighton & Hove BN3 2 GB
Website	www.elc-schools.com
Email	info@elc-brighton.co.uk
Te l	+44 (0) 1273 721771
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持 Accreditation UK Independent Schools Inspectorate



1962年創立の ELC は、50 年以上にわたり英語教員を対象とした教員研修と専門能力開発コースを運営してきた非営利の学校です。語学や実用的な方法論に関する多様なコースを、2 週間単位で年間を通して開講しています。

おすすめコース

2017 年には、当校は欧州、南米、日本の 26 か国からの約 250 名の教員に研修を提供しました。ELC ブライトンは、極めて実践的な教員研修を 2 週間単位で提供しており、資格を持つ経験豊かなトレーナーが運営にあたります。これらのコースは、受講者が以下を達成できるよう組み立てられています。

- 語学教育分野の最新動向を把握する
- 教授技術の幅を広げる
- 英語の知識と英語を流暢に駆使する能力を伸ばす
- 英国の生活と文化の多様な側面を経験する
- 異なる国々出身のクラスメイトと、アイデアと経験を共有する

おすすめコース：英語教育のさまざまな側面を学ぶコース

受講期間 2 週間の当コースは、中高生と成人に英語を教える教員が、実践的な教授方法を学び直すのをサポートします。

目的：

教員が検討すべき数多くのアイデアを提供し、以下のトピックにより授業方法を向上させることが狙いです。

- 最新の教授アプローチ
- 英語に起こった近年の変化
- スキルと語学力向上のための新しいアイデアと実践的アクティビティ
- 最新の教材
- 英国の生活と文化

コース受講成果の例：

- 教員個人の英語力の向上
- 授業における自信向上
- 英語授業の戦略、スキル、アクティビティ
- 授業における方法論実践
- 生徒の意欲向上

毎日 90 分の授業が 3 セッションあり、それぞれ異なる分野に焦点を当てます。以下がその例です。

- 文法と語彙を教える際の独創的アプローチ
- CLIL (内容言語統合型学習) 概論
- 生徒が間違えた時の対処法
- マスメディアにおける英語
- 難解言語の扱い方
- スピーキングのためのアクティビティ
- 発音
- 映画で学ぶ英語
- テキストとタスクデザインの活用

入学要件

CEFR B1 レベル以上の英語力、教室での英語教授経験

開講日

2018 年 1 月 8 日、22 日、3 月 26 日、7 月 2 日、16 日、30 日、10 月 1 日、15 日

1 週間当たりの授業時間数

22.5 時間/週

費用 (2 週間あたり)

720 ポンド

1 クラスの人数

最大 12 名

滞在費用

ホームステイ：144 ポンド/週

学生寮：255 ポンド/週

ホテル：420 ポンド/週

The Lake School of English Oxford

オックスフォード

所在地	14, Park End St, Oxford OX1 1JQ
Website	www.englishinxford.com www.facebook.com/TheLakeSchoolofEnglishOxford www.twitter.com/EnglishinOxford #creativeEnglishteaching
Email	carmel@englishinxford.com
TEL	+44 (0) 1865 724312
認定・ 監査団体	Accreditation UK



当校はオックスフォードの中心部にあり、30年以上にわたり教員のために実践的かつ独創的な専門能力開発コースを提供する学校として、非常に高く評価されています。サマーコースは、オックスフォード大学にて行われています。

当校の教員は資質が高く、非常に経験豊富です。オックスフォード大学出版局の著者である教員もいます。気さくで親しみやすく、かつ柔軟性をもって対応しており、受講生は、ダイナミックでプロフェッショナルな学習環境を経験することができます。

おすすめコース

英語授業におけるクリエイティブ・ティーチング・コース (CLIL 含む)

コースの目的

中学校、高校および大学の教員が、教える技術と英語力に磨きをかけ、伸ばしていけるようにすること。

コース内容

- 自己紹介とクラスメートを知るためのアクティビティ
- 語学力とコミュニケーション能力の向上
- 文法の楽しい教え方
- ブレンド型学習、ICT (情報通信技術)、デジタルメディア
- 内容言語統合型学習 (CLIL) の概念の理解、授業内アクティビティの創作
- 英語の授業で使用する歌と音楽
- 語彙、句動詞、連結と語のつながり
- 創造力を刺激する映画とイメージの活用
- 学習傾向および学習障害を持つ生徒を対象とした教授法
- 授業で直面する課題、学習意欲の向上
- ライティング、フィードバック、誤りの訂正
- テキストの活用、タスクの研究と創造およびタスクへの参加
- 発音実践、音素、強勢および連続発音

「オックスフォードに滞在してレイク・スクール・オブ・イングリッシュに通ったことは、かけがえない経験となりました。質問にはすぐ答えてくれたうえ、役に立つ情報も教えてくれる皆さんに、どれだけ助けられたことでしょうか。時間割もうまく設定されていて、どの授業も活気があっておもしろく、また街に出て文化を知るアクティビティや遠出をする時間的余裕も十分にありました。ホストファミリーはすてきな人たちで、私を温かく迎えてくれ、気さくで優しく接してくれました。オックスフォードは本当に居心地が良かったです」パウラ・ボン・ガルシア (スペインからの受講生)

全てのコースには以下が含まれています。

- 教材、ウェルカムバック、学習バック
- 1年間のEラーニング・センター講座の受講資格
- オックスフォードの史跡を巡るガイド付きツアー、およびオックスフォード大学のカレッジ見学
- 週に一度の夜間交流会 (昔ながらのバブでの交流など)
- 午後や週末の小旅行 (任意参加)
- 飲み物 (紅茶、コーヒー、ミネラルウォーターなど)
- サーティフィケート

入学要件

CEFR B1 レベルの英語力

開講日

2017年11月6日～17日、2018年3月12日～23日、2018年5月14日～25日、2018年7月2日～13日、2018年7月30日～8月10日、2018年8月13日～24日、2018年11月5日～16日

1週間当たりの授業時間数

21時間/週

費用 (2週間あたり)

600ポンド、および入学金 75ポンド

1クラスの人数

平均10名、最大14名

滞在費用

ホームステイ: 175ポンド/週
(1日2食付スタンダード)、

215ポンド/週
(1日2食付エンスイート)

University of Chichester

ボグナーレジス／チチェスター

所在地	International Short Programme Unit, University of Chichester, Bognor Regis Campus, Upper Bognor Road, Bognor Regis, West Sussex PO21 1 HR
Website	www.chi.ac.uk
E mail	S.Corcoran@chi.ac.uk
T e l	+44 (0)1243 812081
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持 Accreditation UK Office for Standards in Education (Ofsted) Quality Assurance Agency for Higher Education



1839年創立のチチェスター大学は英国有数の教員研修大学で、日本人の英語教師研修提供歴28年も含め、英国外出身の教員研修においては40年近い経験があります。

チチェスター大学は、文部科学省が日本の中学・高等学校の教師を対象に英国で開催したプログラムの運営を任された経験があり、また、日本で教員研修を提供したこともあります。

おすすめコース

強み

- ・教員向けの最先端の上級実習プログラムを提供。受講者は、多くの知識とプロとしてのスキルを身につけ、英語を駆使する自信を高めることができます。
- ・ELT 方法論と、個別語学力向上プログラムを用意。
- ・英国の言語・文化に慣れ親しむことができます。
- ・アクティブラーニング、インタラクティブベースのラーニング、発見ラーニング、タスクベースのラーニング、学習意欲を刺激して生徒を集中させる方法など、現代的な教授・学習アプローチを学びます。
- ・CLIL (内容言語統合型学習) と EMI (教授言語としての英語) という、英語を媒介として教科内容を教える、実践的な方法を学びます。
- ・文科省の2020年英語教育改革に備え、3年生から6年生までの児童に英語を教える日本人教師向けに編成されたプログラムを提供。
- ・学校の授業に関連する資料や、TESOL の資料を豊富に取りそろえた教育ライブラリを利用できます。

コースの目的

- ・英語を教える実践的スキルを伸ばします。
- ・受講者の英語運用能力を向上させます。
- ・教室でプロフェッショナルに英語を駆使する自信を高めます。
- ・教える手法や教材を批判的に評価できるようになります。

コースの構成内容

- ・学校での経験：準備、実地研修、振り返り
- ・実践的 ELT 方法論
- ・学習評価
- ・21世紀スキル (批判的思考、創造性、コミュニケーション、コラボレーション、テクノロジー) の、英語教授法への組み入れ
- ・効果的な教授法、教授能力の向上
- ・語学力の向上
- ・プロフェッショナルな語学力の向上
- ・CLIL と EMI
- ・教育におけるイノベーション

コースの対象者

- ・小中高の英語教師
- ・多言語環境で仕事をする小中高の教師 (CLIL)
- ・英語を教授言語として科目を教える大学の英語教師 (EMI)

参加者の指導対象者の年齢

- ・5～9、10～14、14～18歳

コース期間

- ・2、3、4週間

入学要件

現職の教員であること

開講日

2・3・4週間のコースを1年を通じて開講

1週間当たりの授業時間数

21時間/週

費用

350ポンド/週 (授業料)

1クラスの人数

10～20名

滞在費用

ホームステイ：140ポンド/週

学生寮：114ポンド/週
(スタンダード・食事なし)

138ポンド/週
(エンスイートデラックス・食事なし)

学生食堂の昼食：24ポンド/週
(月～金)

学生食堂の朝・昼・夕食：70ポンド/週
(月～金)

University of Edinburgh English Language Education

エディンバラ

所在地	The University of Edinburgh Centre for Open Learning, Paterson's Land, Holyrood Road, Edinburgh EH8 8AQ
Website	www.ed.ac.uk/english-language-teaching/global-partners-and-professionals
Email	eleinfo@ed.ac.uk
TEL	+44 (0) 131 650 6200
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持



THE UNIVERSITY of EDINBURGH
English Language Education



当校で学ぶことは、世界有数の教育機関で学術的・文化的視野を広げる最適な方法です。当校は4世紀以上にわたり、世界を変える一翼を担ってきました。世界をリードするベテラン講師陣が明日のパイオニアを教育し続ける今日、その名声は少しも色あせていません。

おすすめコース

歴史ある美しいスコットランドの首都で、教員を対象とした当校のコースを受講することは、教授技術を伸ばし、磨きをかけるのに最適な方法といえるでしょう。当校は30年以上にわたり世界各地の小中高や大学の英語教員や、英語を用いて科目を教える教員に学びの場を提供してきました。

双方向的で実践的なコースは、多忙を極める現場の教員を念頭にデザインされており、英語教授のあらゆる側面に焦点を当て、最新の実践を紹介します。受講者は、経験豊富な指導教員の助言やサポートを受けながら、各自が実践する教授法について意見を交わし、検討します。

教える場が小中高か大学か、あるいは教職に就いたばかりであるかにかかわらず、綿密に組まれた「教員のための方法論と言語」コースは、受講者の教員としてのニーズに応えます。本コースは中高生や社会人学生を教える英語教員を対象としており、英語教授法についての新たな知識を身につけ、さらに教科を英語で教える自信と能力を高めることを目的としています。

エディンバラを選ぶということは、歴史的建造物、美術館、アートギャラリー、劇場がスコットランドで最も多いことを誇る都市を選ぶということです。中でも、息をのむような建造物が並ぶエディンバラの中世の旧市街は、ユネスコ世界遺産に登録されています。

学生寮はキャンパスの中心部から歩いて行ける距離にあります。学びながらもくつろげる、素敵な施設となっています。

開講日

要望に合わせて対応

1週間当たりの授業時間数

要望に合わせて対応

1クラスの人数

要望に合わせて対応

※本コースは、グループでの参加のみ受け付けます。

滞在費用

学生寮：200ポンド/週

University of Liverpool English Language Centre

リバプール

所在地	1-7 Abercromby Square, Liverpool L69 7WY
Website	www.liverpool.ac.uk/english-language-centre/tailor-made-courses/
Email	elc-coms@liverpool.ac.uk
Te l	+44 (0)151 794 2722
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持 Accreditation UK



リバプール大学附属英語センターは、世界的な名門として知られるリバプール大学の一部であり、最高レベルの教員研修を世界各地からの教員グループに提供しています。リバプールは人々が親切で物価が低いことで知られ、楽しく社交的な環境で、質の高い専門教育を行っています。

おすすめコース

当センターでは、世界的な名門大学のあらゆる施設を利用した教員研修コースを開講しています。語学研修と教師研修を組み合わせることも、教員研修にセンター内で実施される複数の英語レッスンの見学、学校訪問、文化アクティビティを組み合わせることもできます。

コースに含まれる内容として、以下が挙げられます。

- センター内で実施されるアカデミック英語クラスの見学プログラム
- 授業見学分析
- トレーナー主導の「外国語としての英語教授法」ワークショップ
- トレーナー主導の「アカデミック英語教授法」ワークショップ
- トレーナー主導の「特定の目的のための英語教授法」ワークショップ
- 「研修ジャーナル」を完成させることによる学習の振り返り
- 大学図書館での学習ガイド
- 文化交流イベント

コース期間中、大学教員と議論を交わしたり、科目の教授言語としての英語を重点的に学習したりすることも可能です。

大学ではさまざまなバックグラウンドの学生が学んでいます。当センターの教員研修コースでも、教職に就いたばかりの方々をはじめ、新しい視点や授業のやり方を探し求める経験豊富な教師まで、多様な受講者を歓迎します。

大学という環境で学ぶことは、最高水準の施設で、極めて有能な教員による授業を受けられるということです。さらに、リバプール大学の同窓会ネットワークとつなげ今後のキャリアに役立てることもできます。

各コースは1月または8月に実施しますが、その他の期間であっても、グループ用コースを1年中いつでも組み合わせることができます。詳細につきましては、ELC チームにメールでお問い合わせください。

入学要件

CEFR B1 ~ C1 レベルの英語力

開講日

1月、8月

1週間当たりの授業時間数

21 時間/週

費用

600 ~ 750 ポンド/週

1クラスの人数

平均 12 名

滞在費用

学生寮：145 ポンド/週

University of Portsmouth SLAS (School of Languages and Area Studies)

ポーツマス

所在地	Park Building, King Henry I Street, Portsmouth PO1 2DZ
Website	www.port.ac.uk/school-of-languages-and-area-studies/
Email	alessandro.benati@port.ac.uk
Te l	+44 (0) 2392846050
認定・ 監査団体	英国ビザ・イミグレーションによる Tier 4 スポンサー・ライセンスを保持 Quality Assurance Agency for Higher Education



SLAS は、言語、コミュニケーション、国際研究を扱う、英国でも最大級の学部です。当学部が提供するプログラムは多岐にわたり、また、世界水準の研究、コンサルティングや知識の交換も行っています。スタッフによる世界水準の研究は、PortCAROLS（言語科学応用研究支援センター）内で行われており、学際的活動は、英国と欧州の主だった研究評議会からの資金援助により行われています。

おすすめコース

英語教員と語学教員のためのトレーニングコース

当コースは 2 週間で、英語やその他の外国語を教える学校や大学の教員を対象としています。受講者は、第二言語学習研究、言語学習における理論、言語教授実践に共通の課題について理解を深めていきます。

当トレーニングの主な目的は、第二言語学習者がどのようにして言語を処理し習得するかを理解し、言語教育における最新・革新的な技術を理論と実践の両面から身につけることです。

当コースでは、言語教育に関連した理論や研究を探究し、新しい教材やアイデアを見つけ出して収集し、また、授業で使える実用的な教授技術を共有します。

本コースは 4 つのモジュールで構成されています。

- ・第二言語学習の理論と研究が疑問を投げかける、第二言語教育の通説とは
- ・文法はどのように教えるべきか
- ・コミュニケーションタスクと言語タスクの本質とは
- ・授業計画をどのように立てるか

受講者は各モジュール（1 モジュールにつき 10 時間）を通じて、第二言語学習における理論的見解と研究が、いかに私たちの言語教授のあり方に影響を与えているかについて理解を深めます。またいずれのモジュールも、学習プロセスを理解し、その知識を日常の指導に活用するためのツールを提供します。

入学要件

中級以上の英語力

開講日

3月、8月、12月

1 週間当たりの授業時間数

20 時間/週（2 週間コースの場合）

費用（2 週間あたり）

1 名につき 2,250 ポンド（授業料、空港からポーツマス大学へのバス運賃、大学学生寮への滞在費、教材費およびサーティフィケート費用を含む）

1 クラスの人数

15 ~ 20 名

Westbourne Academy London

ロンドン

所在地	Arbour Square, London E1 0PT
Website	http://westbourneacademy.com/
Email	international@NCCLondon.ac.uk
TeI	+44 (0) 20 7510 7652
認定・ 監査団体	Accreditation UK



ウエストボーン・アカデミーは、ニュー・シティ・カレッジ・ロンドンが所有する語学学校です。ニュー・シティ・カレッジ・ロンドンは公立の学校で、教育の質の高さと教員研修の確かな実績で、極めて高い評価を受けています。

ロンドン校は、ロンドン塔から10分程のDLRライムハウス駅近くにあります。受講者は、豊富な蔵書を誇るカレッジの図書館や、スタッフや学生と交流できる学生食堂やガーデンを利用することができます。

おすすめコース

トレーナー訓練コース

1 週目	月	火	水	木	金
午前 9:30 - 12:30	インダクション 研修の目的 言語意識 レッスン分析	カレッジ英語教 員の授業参観	授業でのテクノ ロジー活用 教師ではなく、 生徒が話すよう にするには	間違い訂正、スピー キングとライティングへ のフィードバック 意味の伝達と理 解度の確認	カレッジ英語教 員の授業参観 フィードバック
午後 1:30-4:00	実際の教材使用 授業参観計画	授業参観のフィード バックとディス カッション 文法 1		レッスン計画 英語新着情報	交流イベント・ ランチ (12:30-1: 30)

2 週目	月	火	水	木	金
午前 9:30 - 12:30	トータルイマ ージョンとL1の 活用 文法 2	実際の場面の聞き 取り ディクトグロス	指導実践と フィードバック	10代の指導 (14~16歳) ジュニアの指導 (10~14歳)	ゲームを活用した 学習サポート 学習レビュー 修了書授与と修 了パーティー
午後 1:30-4:00			指導実践と フィードバック		

- 各受講生には「パディ (buddy)」と呼ばれるアドバイザーがつかます。経験豊富な公立カレッジの英国人英語教員がその役を担います。パディのシャドーイングをしたり、お互いの授業を参観したり、教材や教授法について議論するなどします。
- 本コースは、成人や16~18歳の生徒を教える英語教師を対象として組まれています。より若い生徒を教える教師の方々も歓迎します。
- 資質の高い、経験を積んだフレンドリーなトレーナーが指導にあたります。
- 高い技能を持つ経験豊富なカレッジマネージャーが授業を見学する、教育実習があります。見学後、マネージャーはその授業について受講者と話し合い、詳細なフィードバックと要改善点を書面にて提供します。

コースの目的は次のとおりです。

- 受講者の英語力を伸ばし、最新の英語スキルを身につけてもらう
- 各受講者の教師としての個別のニーズに合ったコース内容を提供する
- 教授能力を伸ばすための個別プランを提供する
- さまざまな国際的バックグラウンドを持つ教師間で、参考となる教え方や活動などを共有する
- 教師間のグローバルネットワーク構築を促進する

受講者の皆さんが、ロンドンでの滞在時間を存分に活かすことができるよう、交流/文化プログラムを手配することも可能です。(要追加費用)

入学要件

CEFR C1 レベル以上の英語力、21歳以上

開講日

2018年1月8日~19日、3月12日~23日、
7月2日~13日、12月3日~14日

1週間当たりの授業時間数

20時間/週

費用 (2週間あたり)

600ポンド、および宿舍費
5名以上のグループ割引(授業料の10%)あり

1クラスの人数

4~14名

滞在費用

ホームステイ: 200ポンド/週~

学生寮: 270ポンド/週~

ホテル: 800ポンド/週~

Wimbledon School of English

ロンドン

所在地	41 Worple Road, Wimbledon, London SW19 4JZ
Website	www.wimbledon-school.ac.uk
Email	info@wimbledon-school.ac.uk
Tel	+44 (0) 2089471921
認定・ 監査団体	Accreditation UK



1964年創立のWSEは、ブリティッシュ・カウンシルの審査にて最高評価を得ており、英国屈指の語学学校として広く知られるようになりました。あらゆるレベルの一般英語コースのほか、教員リフレッシュコース、CLIL、テクノロジーを活用した教授法など、英語教員を対象としたさまざまなコースを開講しています。

おすすめコース

当校では、いずれの教員研修プログラムも経験豊富なトレーナーが担当しており、受講者が教員として専門的能力を高めていくための語学力や手法、実践的アイデアを身につけられるよう工夫されています。

教員リフレッシュコース（1～2週間）

授業で取り入れることのできる新たな手法やアイデアを学びたいと望む、教員資格・経験を有する英語教員を対象としたコース。最新の方法論を学ぶとともに、自身と他の受講者の経験から学びあいます。

テクノロジーを活用した教授法（1週間）

授業でテクノロジーを効果的に活用するためのスキルと理解を深めたい教員に最適なコースです。語学教育の現場でさまざまなアプリケーション、ソフトウェア、ソーシャルメディアのサイトをさらに自信を持って使いこなせるようになります。

教授言語としての英語／CLIL（内容言語統合型学習）（1週間）

教科を問わず、英語を教授言語として使用する教員を対象としたコースです。分かりやすさや話すスピード、イントネーションに重点を置きつつ、声を効果的に使うことができるよう指導します。

ケンブリッジ英語教授知識認定テスト（TKT）（2週間）

英語教員としての経験がまだ浅い、あるいは今後教職に就くことを考えており、雇用の見通しを高めるために公認資格の取得を希望されている方には、TKTの準備コースである当コースがおすすめです。コース終了時には、同テストを受ける機会を設けています。

入学要件

CEFR B2 レベルの英語力
(TKT コースは CEFR B1 レベル以上の英語力)

開講日

1月、7月、8月

1週間当たりの授業時間数

20～23時間/週

費用

345～394ポンド/週（授業料）、
および登録料50ポンド

1クラスの人数

最大14名

滞在費用

ホームステイ：190ポンド/週
(スタンダードシングル、1日2食付)

学生寮：155ポンド/週～

ホテル：350ポンド/週～